

フィンドレー大学 12 月報告書

デザイン学科 3 年 杉山歩乃佳

まず、今までの報告書と形式が違うのには訳がある。私のノートパソコンはもともと不調だったのだが、ここにきて Adobe が動かない。そのためスマホの Word で作成している。とても読みにくいだろうが、お許しを…最後まで Adobe でまとめたかったのだが、どうしようもない…

別れの12月

12月4日

コンサートバンドのクリスマスコンサートがあった。このコンサートがバンド最後の日であったため、終わってしまうのが悲しかった。

12月5日～8日

大学最終週でみな最終テストと帰省準備で忙しい。IELP のテストは簡単なので勉強せず、最後の週は友達と話す時間に費やした。写真の授業ではポートフォリオの講評会を兼ねてレストランでご飯会を開いてくれた。学部生の会話の中に入るのはやはり難しいが、理解はできるようになった。テストが終わるとアメリカの学生は寮をすぐに退去しなければいけない。テストお疲れさん会とかお別れの時間を惜しむイベントとかはない。それが少し寂しかった。



9日～18日

留学生が退去。日本の留学生はもしかしたら会える可能性があるが、他国の留学生とはもう会えない可能性が高い。そう思うと悲しい。



19日～21日

一人旅の出発地であるトレドに行くため、ハウスメイトの家に3泊した。彼女の家族はとても優しく、面白くてたくさんのおもてなしをしてくれた。彼女と一緒に旅をする予定だったが、できなくなってしまい残念…日本に来ると言っていたので、その時は恩返しをしたい。

21日～28日

アメリカほぼ一周の一人旅が始まった。1月30日まで旅をする予定だ。一人旅をするために留学前はとにかくバイトをして貯金した。とはいえ、円安でお金はないし、次の留学費用も残しておかないといけない。節約するために Amtrak の USA レールパスを利用して移動する。時間はかかるが、荷物制限は飛行機よりゆるいし、席も広い。市民が使う交通網ではなく、旅行者向けなのでいろんな地方、国の人と出会える。お話ししたり、食べ物をもらったりと予想もしていなかったことが起こるので面白い。

12月に訪れた場所

- ナイアガラ（アメリカサイド、カナダサイド）
- トロント
- ニューヨーク



それぞれの場所で、色々書きたいことはあるが長くなるので割愛。

カナダへの入国とアメリカへの再入国のことの方が重要なので伝えたい。

私の場合【陸路でカナダに入国】した。カナダには旅行者として入国するのでビザは不要。パスポートのみ見せて入国。

そして、【留学期間終了後にアメリカを出国】したため、学生ビザと I-20 を失うことになる。アメリカに旅行者として入国するためビザは不要。ビザの代わりに ESTA が必要。陸路で入国するため I-94 が必要。アメリカに定住しようと思わず、帰国することを証明するために日本への航空券があるとのお話し。

留学期間を終えてからの再入国について調べたが明確に再入国できると書いてある情報が見つからなかった。また、大使館の情報が古かったりするので 100%信じてはいけない。一番確実なのはアメリカの管理局に問い合わせることだか、返事が遅い。私の場合、陸路で出国したため、出国前、国境管理局に対面で問い合わせることができた。色々準備しても、最終判断を下すのは入国審査官なので 100%再入国できるとは言い切れないそう。重要なことは自分で調

べることである。以上のことは私の例なので、もしこれを読んでいる未来の留学生たちがいたら信用しすぎないでほしい。



28日～

シェアハウスで同じ家だった日本人と合流。タイムズスクエアのカウントダウンに参加し、14時間待ち続けた。良き思い出である。